

せせらぎ



令和4年5月13日
富士市立原田小学校
学校だより 5月号

(令和4年度 重点目標) ○「いいね。」を広げよう ○よくきいて 自分の考えをもとう

原田小学校は「コミュニティ・スクール」になりました。

校長 大橋 幸治

ゴールデンウィークが終わり、汗ばむ日が多くなりました。学校では、新年度が始まり一か月が過ぎました。新しい教室、新しい仲間にも少しずつ慣れ、どの教室でも、落ち着いて学習に取り組む子どもたちの姿が見られています。コロナ禍ではありますが、新しい生活様式を守りながら教育活動を進めてまいります。

さて、昨年の学校便りでお知らせしましたが、原田小学校は、本年度から富士市の指定を受けて「コミュニティ・スクール」になりました。学校と保護者や地域の皆さんがともに知恵を出し合い、協働しながら子どもたちの豊かな成長を支え「地域とともにある学校づくり」を進められるように取り組んで参ります。未来を見据え持続可能で、地域に根差した特色ある原田小学校になるよう皆様と力を合わせていきたいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

コミュニティ・スクールには「学校運営協議会」が設置されます。設置者は富士市教育委員会です。第1回目の「学校運営協議会」を17日(火)に予定しております。ここで決まりました活動方針や今後の計画などは、今後CS便りで、皆様にお伝えしていきます。

原田小学校では、既にコミュニティ・スクールディレクター(渡邊 美江さん)の呼び掛けに応じて、畑作りや花壇作り・草刈りや危険個所にシートをつける等で御協力をいただいております。また、昨年できなかった読み聞かせボランティアの皆様の活動も先日、感染症対策を講じながら、行っていただくことができました。

皆様の誠意に支えられながら、学校教育目標「かしこく正しく たくましく」に向けて職員一同全力で取り組んで参ります。今後ともご支援ご協力をよろしく願いいたします。



玄関横の花壇を整備していただきました。子どもも一緒に活動しました。



4・5組の畑の苗植えと管理を助けていただいています。



危険な切り株にシートをかけていただきました。